

「オリオン通り・オリオンイースト」の再生!

甲府城南商店街振興組合(福島敏三理事長)では、2月から3月末にかけて“グリーンリノベーション活動”が実施された。

この活動は、山梨県建築設計協会などがつくる「2040プロジェクト」の一環として、建築士の視点から甲府市の活性化のため行われているもので、今回は、本組合の「オリオン通り・オリオンイースト

の再生」をテーマに山梨県建築設計協会の協力により行われた。

グリーンリノベーション活動は、甲府盆地を世界一美



しく魅力的にしていいため、壁面緑化等を行い、通りそのもののクオリティを上げるとともに、常緑植物による壁面緑化と彩りのフラワーポットにより、甲府市の中心市街地を再生し人々が集まれる場所を作って行くため実施されている。

今回の取り組みでは、ヨーロッパの古い街並みを連想させる壁面れんがや路地の雰囲気を活かし、「グリーンペンダント」と称して約60種類の花をプランターに植え30カ所に設置するとともに、壁面10カ所にはリースの飾り付けなどを行い、オリオン通り・オリオンイーストを路地特有の少し暗いイメージから華やかな大人の雰囲気が漂う小道へと変化させた。

今後の取り組みとして、既存のアーケード等を活



再生前



再生後

かして、七夕やクリスマスのイベントにあわせて花や植物の変化で季節を感じられるデコレーションを行い、オリオン通りにしかない独特な空間の演出等が行えるよう計画している。

福島敏三理事長は、「今まである建物を活かしながら落ち着いた感じの通りになることができた。訪れるたび季節を感じる事が出来るよう成長を見守って行きたい」と話していた。